

## 安城ロータリークラブ



# 週報

【 No.590 2013/5 第2例会 】

例会日:毎週金曜日

例会場:碧海信用金庫本店 3F  
安城市御幸本町 15-1

TEL:0566-75-8866

FAX:0566-74-5678

Email:[anjo-rc19580206@katch.ne.jp](mailto:anjo-rc19580206@katch.ne.jp)

HP:<http://www.anjo-rc.org>

## 第 2731 回例会

2013年5月17日(金) 12:30~13:30

司会者:内藤教恵君

ソング:それこそロータリー

卓上花:カスミ草・シャクヤク

ゲスト:なし

ビジター:なし

2012-2013年度 RI テーマ:

Peace Through Service 「奉仕を通じて 平和を」

クラブテーマ:

親睦から奉仕へ。そして奉仕を通じて平和を。

■会長:大見 宏

■幹事:石川 義典

■クラブ会報:成田孝則・松本隆利・青山竜也

■創立日:S33年1月10日

■RI加盟認証日:S33年2月6日



## ■会長挨拶

大見 宏会長

### 《あいさつ》

例会も今日を入れてあと4回となりました。

あっという間の1年だったと思います。

昨日、一昨日と橋下市長の問題発言をマスコミが取り上げています。彼の本性がでたのかなと私は思います。一生懸命いまい訳をしていますけれども彼の頭の中はああいう考えなのかと私は感じています。

絶対に意見を撤回しないだろうし謝罪もしないだろうと思います。政治家としては非常にがっかりしました。



### 《報告》

平成 25 年 5 月 23 日 三河安城RCとの合同コンペ (葵CC)

平成 25 年 5 月 24 日 ワイン同好会223ドワードウートレ

平成 25 年 5 月 26 日 寸又峡撮影会

### 《職業奉仕委員会》

『職業講話・職業体験事業所登録台帳』に登録のお願い。

- ・中学生の職業体験の受け入れをお願いします。
- ・皆さんが学校へ行って自分の職業、生業の話を生徒さんへして頂きたいと思います宜しくお願い致します。



ロータリーの国際奨学事業(3つ)とは？

- 1 ロータリー財団による国際親善奨学生⇒ 外国に留学する日本人に対し、ロータリー財団がその費用を援助する
- 2 青少年交換学生⇒ 高校生対象、地区もしくはクラブが費用負担
- 3 米山奨学生⇒ 財団法人ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業

【米山記念奨学会の始まり】

東京R. C初代会長米山梅吉の遺徳を記念し、1952年東京R. Cにより「米山基金」が設立される。

→1967年財団法人に「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から1人でも多くの留学生を日本に迎え入れ、平和日本を肌で感じてもらうしかない。

それこそ、日本のロータリーに最も相応しい国際奉仕事業ではないだろうか。」

<米山奨学会の事業規模は？>

- ・年間事業費は？ ⇒ 約14億円
- ・年間採用奨学生数は？ ⇒ 約800名(累計1万7028名)→700名(31名)
- ・寄付金の種類は？ ⇒ 普通寄付金(約4億円)
- ・全ロータリアンからの定期寄付金(約4586円) 特別寄付金(約8.9億円) 普通寄付以外の個人・法人からの寄付

<奨学金プログラムは？>

- ・学部・修士・博士課程奨学金⇒ 期間最長2年、月額 学部:10万円 修士、博士:14万円

募集方法:指定校、学校推薦

- ・地区奨励奨学金⇒ 短大、高専、専修学校 1年 月額7万円
- ・クラブ支援奨学金⇒ 期間延長プログラム 世話クラブ推薦 14万円、6ヶ月か1年

【表彰制度】

- ・準米山功労者

個人特別寄付金累計額3万円

- ・米山功労者

個人特別寄付金累計額10万円、累計20万円で第2回米山功労者マルチプル、100万円で第10回米山功労者メジャードナー

【米山功労クラブ】

クラブ特別寄付金累計額100万円

【世話クラブ・カウンセラー制度】

<世話クラブの役割>

【選考方法について】

- ・地区内の指定大学から推薦

- ・基本的資質

- 1 学業優秀
- 2 異文化理解に対する積極的姿勢
- 3 高いコミュニケーション能力

- 1 毎月1回奨学生を例会に招待し、奨学金を支給

- 2 米山レポートなど指定書類の提出確認

- 3 卓話の機会を与える

- 4 他クラブへの卓話の機会を与える

- 5 指導教員、大学関係者との交流を図る

- 6 会員との交流・奉仕活動への参加を促す

- 7 奨学期間後も学生との交流を図る

【米山カウンセラーの役割】

- 1 奨学生の相談に応じるなど個人的ケアにあたる
- 2 奨学生ができるだけ多くのロータリアンと交流を深める機会をつくる。
- 3 大学生活では体験できない人物、文化交流、地域活動参加への機会をつくる。

## ■ 幹事報告

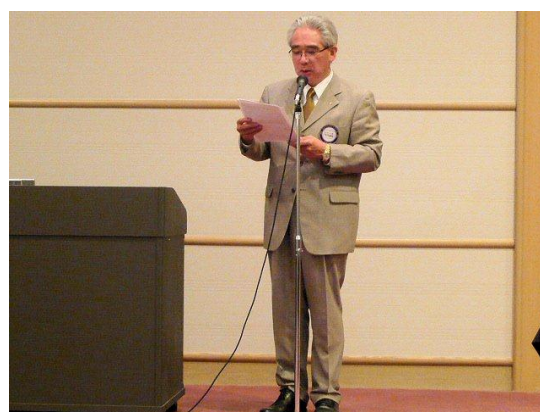
石川義典君

- ・職業奉仕委員会より 本日説明及び配布いたします、『職業講話・職業体験事業所登録台帳』に登録をお願いいたします。
- ・5/26(日)創立55周年記念旅行 寸又峡SL列車の旅、登録料をお願いいたします。  
集合時間6:15碧海信用金庫本店 出発6:30 駐車場は碧海信用金庫西側・北側を予定しております。  
当日例会終了後寸又峡のつり橋まで1時間～1時間30分ほど散策していただけます。  
散策希望の方は、履き慣れた靴でお越しく下さい。
- ・6/9(日)第6回安城RCゴルフコンペ取りきり戦を葵CC8:00～にて行います。
- ・6/28(金)親睦夜間例会を川本18:30～にておこないます、登録ください。

## ■ 委員会報告



(兼松信吾君 転勤のご挨拶)



(竹内通裕君 55周年記念例会の説明)

## ■ 出席報告

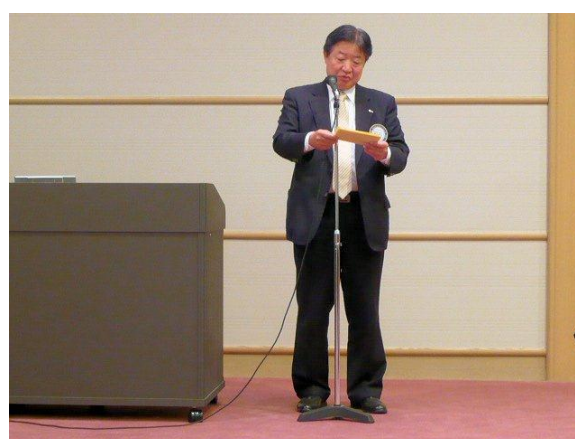
小野田真代君

会員	57名
出席義務者	46名
出席	36名
欠席	11名
出席免除者の出席	10名
出席率	81.48%
修正出席率	4月19日 第2728回 94.64%

## ■ ニコボックス報告

神谷明文君

本日のニコボックスメッセージの紹介



テーマ:「30 年前の中国」



1983 年と 1984 年に 2 回中国を旅しました。1983 年は中国の陝西省旅遊局の企画したツアーに参加したのですが、おしきせの体験につまらない思いがして自由に行きたいところへ行きたくなり、またシルクロードへのあこがれもあって、中国自由旅行の計画を練りました。ちょうど地球の歩き方というガイドブックが刊行された頃で、これで情報収集し、翌 1984 年に、香港から個人ビザで入国し全く一人で中国のシルクロード方面まで約 1 か月の予定で行き当たりばつたりの旅をしました。個人旅行では、外貨兌換券と人民元との 2 つの通貨の存在や、外国人に開放されてない地域の存在など団体旅行では体験することのできない経験をしました。



香港から広州に出て、そのあと鉄道で鄭州、西安へと移動しました。観光地もまわりましたが現地の若者と束の間でしたが交流できたのはとても印象に残っています。次に飛行機で蘭州、そして敦煌に移動しました。莫高窟はさすがに多くの観光客がいました。地元の招待所に宿泊しましたが、値段は安く快適でした。地元の若者との交流もできました。日本人はあまり多くなくヨーロッパやアメリカなどからの若者とも招待所で話げできました。



本当はもう少し奥地まで行きたかったのですが、体力と時間の限界を感じ嘉峪関と酒泉によって、酒泉から鉄道でシルクロードを後にしました。酒泉から蘭州にもどり、ここで上海行きの鉄道に乗り沿海部へもどり、上海の空港から成田空港経由で帰国しました。現代と違う中国ではありましたが多くの人と話げでき今から思えば楽しい旅行でした。最近ほとんど中国に行く機会はありませんが、現在もできれば 30 年前とあまり違っていない中国であることを願っています。